

本日で施行 75 年目を迎え、日本国憲法について改憲が議論される中、道行く若者たちにはどのように映っているのか。憲法についてどう考えているのか、私たち大阪平和委員会青年学生部は、2014 年から 7 回目の「若者 100 人に聞く憲法アンケート」を実施し、大阪の若者の意識調査を行った。

今年はロシアによるウクライナ侵略を受けて、アメリカの核兵器を日本に配備する、いわゆる「核共有」の議論が起こる中、「日本が核兵器を持つことについてどう思いますか？」という設問も加えた。また、全国での集計については後日平和委員会機関紙「平和新聞」紙面にて発表する。

(結果)

阿部野橋歩道橋周辺にて 9:30~11:20 の間、計 16 人で若者 101 人からアンケートを得た。(内訳は 12 歳~32 歳で平均年齢は 17.81 歳だった。)

Q1「5月3日は何の日？」の問いで「憲法記念日」「日本国憲法施行日」と正解した若者は 41 人 (40.6%) と前回 (2019 年) の 20.5% と比べて高い正答率となった。誤回答・無回答は 60 人 (59.4%) だった。

誤回答では、「憲法の日」「憲法」「日本国憲法公布日」「なんとか憲法の日」との回答が 12 人と、5月3日は憲法に関する祝日である認識が若者の間でも高まっていると言えるかもしれない。誤回答として例年多い「みどりの日」(2 人) や「こどもの日」(1 人) は今回は少なかった。

Q2「憲法は変えるべきか？」という問いに対して、改憲賛成(変えるべき、どちらかといえば変えるべき)の回答数が 19 人 (18.8%) に対して、改憲反対(変えるべきでない、どちらかといえば変えるべきでない)の回答数が 20 人 (19.8%) とわずかに上回ったが、その差は前回と比べて縮小した。ただし、「わからない」と回答した若者が 62 人 (61.4%) と相変わらず大多数を占めた。

変えるべきでない派の意見としては「今でも充分成り立っていると思ったから」「現在目立った問題は特にないと思うから」「憲法を変えるにはたくさんの方の意見を聞いたりしなければならぬから」「憲法を変えるより政治家を変えたほうが良い」というものがあった。変えるべき派の意見としては「9 条」「集団的自衛権の解釈」と安全保障に関する意見が 5 人、「昔の時代に作られたから」「古い部分を新しくすべき」「70 年以上前に決定されたので、少し考え方が古いのではないかと日本国憲法が時代に合わなくなっている」という回答が 4 人いた。また、「教育面」「年金保障」「税金の見直し」「公平なところと不公平なところがある気がする」という意見もあった。

Q3「憲法 9 条については変えるべきか」という問いに対しては、9 条を変えたいと回答した若者は 12 人 (11.9%) にとどまり、変えるべきでないと回答した若者は 61 人 (60.4%) だった。「わからない」と回答した若者も 28 人 (27.7%) いた。

9 条を変えたいと回答した若者からは「自分たちが戦わないとわかったら相手から攻めやすくなるから」「他国になめられるから」「身を守るのは自分らでやるべき」「防衛できないため」と他国からの攻撃を意識した意見が目立った。反対の意見としては「戦争はしてほしくないから」「戦争するべきではないから」「平和に過ごしたいから」と憲法 9 条が変えられることが戦争につながるのではないかと不安と、9 条によって平和が守られてきたという認識が強かった。

Q4は9条の内容に踏み込んだ「9条第2項は変えるべきか?」という問いについては、「変えるべき」と答えた若者が30人(29.7%)と前回から大幅に増加、「変えるべきではない」と回答した若者が32人(31.7%)と拮抗した。「わからない」は38人(37.6%)だった。

変えるべきとする理由としては「もし攻撃されたときに日本の安全が保障できないから」「攻めてこられたときに備えておくのは大切だと思うから」「ロシアの件や北朝鮮のこともあり、国を守れるだけの力は必要」という他国からの攻撃を意識した意見が多くあった。反対の若者からは「話し合いで解決できてほしい」「(日本は戦力を)このままもっていないポジションでいるべき」「戦力もつと戦争に近づく」という意見があった。

前回は当時の首相による「憲法に自衛隊を明記し、違憲論争に終止符を打つ」との発言があったこともあり自衛隊を意識した回答が多かったが、今回はロシアによるウクライナ侵略を目の当たりにし、国際情勢への不安や抑止力論など日本の安全保障を意識した回答が目立った。

Q2の「憲法は変えるべきか」の質問で「変えるべき(どちらかという含む)」と答えた19人を抽出し、Q3の「憲法9条(1項)を変えようか」をクロス集計した結果、「変えるべきではない」が11人占め、「変えるべき」の6人を上回った(「わからない」が2人)。母数がそもそも少ないので一概には言えないが、憲法全般としては「変えるべき」と答える若者の中でも、「9条(1項)は変えるべきではない」という若者が少ないことがわかった。こちらは過去7回を見ても、このような数字になる傾向にある。上述にもあるように、「憲法は変えるべき」の人の中で、明確に「9条を変えようか」という意見を示す若者はある一定いながら、「9条は変えるべきではない」という若者が今の生活や時代に合わせて憲法を変えてもいい(「古い部分を新しくすべき」「公平なところと不公平なところがある気がする」など)と考える若者がいることがわかる。

今年特筆すべき点は、Q3の9条1項について「変えるべきではない(どちらかという含む)」と答えた61人の中で、Q4の9条2項については「変えるべき(どちらかという含む)」=戦力を持つべきと答える人が19人もいることである。上述でもQ4については例年になく数字が拮抗しているということを示したが、「戦争放棄」については賛成だが、「戦力不保持」については賛成できない声があったことがわかる。これは、ロシアによるウクライナ侵略についての情報を、日々の報道やSNS等を通して目の当たりにしていることが影響していると予想される。上述のQ4の9条2項を「変えるべき」という若者の意見から見ても、自国が攻められる可能性や、自国で戦争が起きるときのことを想定していることがわかる。

Q5の核共有に触れながらの「日本が核兵器を持つことについてどう思うか」に対する回答は、「持つべき」が14人(13.9%)、「持つべきではない」が87人(86.1%)という結果であり、圧倒的多数が、日本は核兵器を持つべきではないという意見だった。核兵器に対する拒絶感を示している。こちらは自由記述欄を設けていなかったが、「こわい」「少しでも戦いになる原因になりそう」など戦争等に対する恐怖を示す声があがった。

Q6「平和のためにできることをやりたいか」という問いに対しては、積極的にやりたい32人(31.7%)、すこしくらいならやりたい65人(64.4%)、あまりやりたくない4人(4%)、やりたくない0人(0%)という数字となった。96.1%と、何らかの行動をしたいと答えた若者が引き続き9割を超えているという結果になっている。同設問で「平和のためにできることをやりたい」という回答は5回連続で9割を超える結果となった。深層部分では、平和について考え行動したいと考えている若者が圧倒的多数だということが今年も確認された。

【考察】

アンケートでは、憲法全般については「わからない」とする若者が圧倒的に多いことが例年同様に明らかになった。憲法全般を「変えるべき」か「変えるべきではない」かについてはほぼ同数の結果になった。夏の参議院選挙は改憲が大きな争点の一つにもなるが、今の憲法を変えるべきか・維持していくかについて、国民の理解が深まっているとは言えず、議論を更に醸成させていく必要がある。

「9条(1項)について変えるべきではない」という意見が今年も半数以上を占め圧倒的な結果だった一方で、9条2項については例年になく数字が拮抗した。この間のロシアによるウクライナ侵略を踏まえての結果と予想できる。大阪の若者の憲法への意識傾向が確認されると同時に、過去7回の結果を通じて、その時々的情勢や報道状況が数字や、とりわけ意見に反映されることも見えはじめている。「戦争したくない」「死にたくない」などといった平和に対する強い思いと、漠然とした戦争への不安や、日本の国としての対外関係に懸念を示す若者の声が確認できた。ただし、様々な意見や葛藤はありながらも、今年も96.1%が「平和のために何かやりたい」と回答している。若者が「平和を願っている」ということは例年を通して揺るがない事実となっている。

私たちが毎年開催しているこのアンケート活動が、若者にとって憲法について考えるきっかけになることに確信を持つこと。そして不断の努力で若者の憲法意識を高める活動を広げることが求められる。

(大阪平和委員会 青年学生部・青年協議会)

今回のこの取り組みに、マスコミの皆さんの協力をいただいたことに、この書面を通してお礼申し上げます。

5・3若者100人アンケート2022

年齢	歳	職業	
----	---	----	--

Q1	今日5月3日は何の日ですか？	回答：
Q2	現在の憲法についてどう思いますか？	
1. 変えるべき 2. どちらかといえば変えるべき 3. どちらかといえば変えるべきではない 4. 変えるべきではない 5. わからない		
「1. 変えるべき」「2. どちらかといえば変えるべき」と答えた方		
どこを変えたいですか？		
「3. どちらかといえば変えるべきではない」「4. 変えるべきではない」と答えた方		
理由		
Q3	憲法9条「日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇または武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。（戦争放棄）」についてどう思いますか？	
1. 変えるべき 2. どちらかといえば変えるべき 3. どちらかといえば変えるべきではない 4. 変えるべきではない 5. わからない		
理由		
Q4	憲法9条2項の「陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。（戦力不保持）」についてどう思いますか？	
1. 変えるべき 2. どちらかといえば変えるべき 3. どちらかといえば変えるべきではない 4. 変えるべきではない 5. わからない		
理由		
Q5	アメリカの核兵器を日本国内に配備して、その使用の意思決定に日本も関与する「核共有」の議論をするべきという意見があります。日本が核兵器を持つことについてどう思いますか？	
1. 持つべき 2. 持つべきではない		
Q6	平和のためにできることがあったらやりたいですか？	
1. 積極的にやりたい 2. 少しくらいならやりたい 3. あまりやりたくない 4. やりたくない		

- このアンケートの結果や、平和について「もっと知りたい」「自分も行動したい」という方にとりくみなどの、お知らせを送らせていただきます。よろしければ連絡先を教えてください。いただいた情報は上記目的以外使用しません。

お名前

アドレス・LINE ID

電話

ご協力ありがとうございました。よい1日を♪

5.3若者100人アンケート 主催 大阪平和委員会 青年学生部
本日のアンケート結果はHP・FB等でお知らせします。